

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン



2013-2014年度 会長 鶯塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティングナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2013 December 18

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”
Return to basics Advance with intelligence

NO.23

例会報告

●第2019回例会 平成25年12月18日（水）雨

●12月は家族月間

●ロータリーソング 四つのテストのうた

●出席報告 会員 104名中 出席68名
(96)

出席率70.83% 修正出席率85.11%
(12月4日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

熱田神宮 築宜 千秋季頼氏

・米山奨学生 デバコタ・ジバナド君

●ニコボックス

「千秋さん、時期を得た式年遷宮についてのご講演、誠に有難うございます。」 中浜明光君

「入会される長澤さんをよろしくお願ひします年令が36才で若いので、どんどんさそってあげて下さい。」 小林利之君

「入会をさせて頂きます、株式会社ライオンハートの長澤でございます。」 長澤功雄君

「今年最終例会です。来年元気に会いましょう!!」

夏目 稔君、小南速雄君、中野義識君

加藤重和君、増田靖憲君、野崎敏夫君

武藤 博君、今村孝治君、黒田史郎君

加治佐健二君、横井辰幸君、林 邦司君

安井隆豊君、町田重夫君、稻川 久君

國分孝雄君、小林利之君、関 貴之君

楳野智之君、二村伝治君、棚橋秀行君

坂倉弘康君、久保和彦君、山本秀樹君

亀井敏勝君、桑山 猛君、浅野 洋君

梶田浩太郎君、松原忠久君、片桐寛治君

小松佳史君、小栗正章君、天野淑明君

内間三好君、近藤東臣君、川畑 元君

吉田正道君、田中正次君、佐橋嘉彦君

相羽繁生君、伊藤勝康君、宮下幸二郎君

「お陰様で今日（18日）創業60年を迎えることが出来ました。21日韓国のロッテホテルで記念パーティーをしてきます。」 田中知克君

「少し前になりましたが、マージャン会で連続優勝してしまいました。次回3連勝を目指します。」 服部 滋君

「昨日、和合ロータリー入会予定のアンティカローマ経営者 Mr. ニートのお店でスーパーライブ&

ワイン会を開催しました。吉田次郎さん率いるスーパーメンバーにあのジャズシンガー「マリーン」が友情出演された大変ステキなクリスマスパーティーとなりました。大盛況でした!!また、開催しますので皆様お楽しみに。」

田中正次君、間地 寛君
「間地さん、田中さん昨夜はすばらしいジャズセッションお世話をまでした。」 吉田正道君
本日のニコボックス 10件 105,000円
累 計 134件 1,233,000円

服部 滋幹事報告

△当クラブ行事予定

- ・12月18日(水) 本日例会終了後、理事会を行います。
- ・12月25日(水) 規定休日のため休会です。

2014年

- ・1月1日(水) 元旦のため休会です。
- ・1月15日(水) 新春夜間例会、18時～、場所はウェスティングナゴヤキャッスルです。
お昼の例会はございません。

鶯塚貞長会長挨拶

“道教”

中国の四川省に、パンダの繁殖場の視察におもむいた時、成都に滞在した。

成都は、三国志の時代、蜀の都が置かれたので、多くの歴史的文物や、古刹を観ることができる。

伝統的文化を根底から否定した暴政、文化大革命で、壊滅的な破壊を受けたのでは、との心配をよそに、古都の面影が色濃く現存していた。

中国の3大宗教は、儒教、仏教、道教で、道教の歴史は、中国文明の開花が始まった殷王朝の、自然崇拜や民族信仰にその原型がある。

その後、春秋戦国時代の、諸子百家の道教的思想に発展し、秦始皇帝の全土支配が完成したころには、かなり体系づけられ、後漢の時代には、道教の教団組織の形成が、概ねなされたと云われている。

四川省は、道教発祥の地と云われ、各派が存在するその一つとして、成都市内にも道教発祥の寺、青羊宮がある。

道教では、あの世などの存在せず、修行することにより、不老不死の仙人になることを目指し、この世大事が根底なので、いかに日々を有意義に、楽しく暮らすかに

焦点である。

医食同源という、我が国でもよく知られたフレーズがあるが、それな、うまいものを食べながら、いかに長生きするかという、道教の健康法で、粗食を食らいて、細々とちまちまと、寿命を延ばすなどといった、マイナーなものではない。

神は、どぶ板からトイレにまで存在し、森羅万象に神が宿ると信じる神道とは、この点では一致した多神教である。

道教を信奉し、教義に従っての宗教活動を職業とする、道士達により寺は運営され、道士には女性も多々見られ、男の道士は乾道（けんどう）、女の道士は、坤道（近藤）と呼ばれている。

道士は宗派により、出家し、頭髪をのばし、鬚をゆう、出家しないが坊主頭にするなど実に様々である。

いずれにしても、有るのか無いのか誰にも解らない、あの世などあてにせず、健康に良い、うまいものを食べ、八百万の神を敬い、個人でなく部族や民族の幸せを望むなど、きわめて現実的で、無理のない宗教である。

一神教は、異教徒どころか宗派の違いだけで、骨肉の争をくり返すなど、開祖が唱える、愛や平和とは程遠い現況にあり、さぞや開祖は、あの世で嘆いていることだろう。

道教は、三角縁獸神鏡や道教的呪術文様などから、4世紀ごろに、我が国にも伝來したエビデンスがあるが、なぜ、日本に定着しなかったかは、道教の仙人思想が、日本の天皇制を覆す思想につながるので、受け入れなかつたとの説がある。

卓話

「遷宮」について

一伊勢と熱田のご造営一

熱田神宮 櫻宜千秋季頼

今年十月、伊勢の神宮で「第六二回式年遷宮」が斎行されました。

地元熱田神宮では、「ご創祀一九〇〇年祭」が今年五月に斎行されました。熱田神宮ではこの記念すべき年に際し、ご本殿の修復・社殿の耐震対策（修理）、併せて神楽殿の改修を致しました。

「遷宮」という言葉は伊勢の神宮のみに用いられるもので、他の神社では一般的に「遷座」といいます。

従って、熱田神宮では平成十九年十月に仮殿遷座祭、同二十一年十月に本殿遷座祭を斎行いたしました、というのが正しい表現になります。

熱田神宮のご本殿は昭和の大戦で被災し、その後昭和三十年にお建て替え（遷座）をいたしております。このたびのご遷座はおよそ五十有余年振りになります。

一方、伊勢の神宮には「式年遷宮」という制度が古く飛鳥時代に定められ、持続天皇の御代（六九〇年）第一回の遷宮が行われています。

「式年」とは定められた年を意味し、式年遷宮とは元

来、一定期間ごとにお宮を移すことを指します。一三〇〇年ほど前、天武天皇が「廿年に一度まさに遷御せしめ奉るべし」と定められたのであります。

「遷宮」、「遷座」は申し上げるまでなく、ご本殿の工事をなすとき、その期間中、神様に仮の御殿にお移りいただく、ということであり、仮殿遷座を致します。伊勢の神宮は御敷地が二か所あるので、仮殿遷座はありません。いずれにしても、ご本殿の工事があり、神様が新しい御殿にお移りになるのが「遷宮」であり、「遷座」なのです。

さらにそれが「式年」か否かでその違いが出てきます。

残念ながら、熱田神宮には式年造営の制度がありません。それどころか、今日では先のご造営のごとく、痛んだ箇所の修復しかできないのが現状です。

ちなみに、伊勢の神宮では何百億という予算（全国からの寄付）で、内宮・外宮の御正殿外すべての建物が新しく造営されます。

熱田神宮ではとても及ばないことです。

しかしながら、伊勢と熱田の両神宮に対するご皇室の崇敬はただならぬものがあり、いずれの遷宮・遷座にも“天皇陛下が宮殿より御遙拝”遊ばされた由、もれ承っております。伊勢の神宮と熱田神宮のご造営を同等の視線で見ることは大変おそれおおいことではありますが、いずれも皇位の御璽である三種神器の「鏡」（八咫鏡）と「剣」（草薙神劍）をお祀りするお社です。

ご容赦いただければ幸いに存じます。

●第6回理事会（平成25年12月18日（水）例会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル）

- 下期年会費の件
- 春の家族会の件
- WF F決算の件
- カンボジア水支援の件
- 新入会員
- 千住憲夫氏（安井隆豊君、天野清美君紹介）
- マスクリ・ニート氏（伊藤勝康君、田中知克君紹介）
- その他

●1月度誕生日祝福

会員

田尻幹夫君(1月2日)	天野俊明夫人(1月2日)
渡辺泰幸君(1月3日)	倉本徹夫人(1月2日)
須賀邦一郎君(1月8日)	蜂須賀太郎夫人(1月2日)
檜野智之君(1月8日)	小松佳史夫人(1月4日)
蜂須賀太郎君(1月18日)	中条忠直夫人(1月8日)
天野清美君(1月20日)	夏目稔夫人(1月10日)
天野俊明君(1月21日)	山原茂光夫人(1月10日)
岩田玄知君(1月26日)	松下剛夫人(1月11日)
谷喜久郎君(1月27日)	上野山進夫人(1月13日)
	今井明雄夫人(1月31日)

ご夫人

例会	月日	今後の予定
第2020回	1.8	(株)ナゴヤキャッスル 名誉総料理長 大高恒夫氏 「フランス修業時代とミュッシュランについて& 「愛・地球博」迎賓館のエピソードについて」
第2021回	1.15	新春夜間例会 18:00~ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はありません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。